

JFFID 2024 日本代表強化合宿 [4月開催]

報告者：日本代表監督 西 真一

1 日時・場所

期間：2024年4月26日（金）～29日（月・祝）

場所：さくらスタジアム 他（栃木県さくら市）

2 強化合宿の目的

- 選手：課題認識・克服
- スタッフ：Attention to detail [細部に拘る]

3 スケジュール

| 期日 | 午前 | 午後 | 夜 |
|------------|-----------|---------------------|--------|
| 4月26日（金） | 集合 | フィジカルチェック トレーニング | ミーティング |
| 4月27日（土） | トレーニング | トレーニングマッチ | ミーティング |
| 4月28日（日） | トレーニング | トレーニング | ミーティング |
| 4月29日（月・祝） | トレーニングマッチ | 解散 | |

4 スタッフ・選手

スタッフ：8名

選手：19名（※うちトレーニングパートナー1名）

5 トレーニング・ミーティング及びゲーム

【フィジカルテスト】40m走、クランク走、YO-YO（間欠性回復力 level 1）

【攻撃】ポゼッション

- ・パス&コントロール&サポート&ターン、4vs4+3F、ゲーム

【守備】前線・中盤の守備

- ・パス&コントロール、3vs3+1T+1S、6vs6、ゲーム

【攻撃】ビルドアップ・前線の崩し

- ・パス&コントロール、4vs4+3F、7vs7+2GK、ゲーム

【中央突破・サイドの攻撃】中央のコンビネーション、サイドのコンビネーション、ゲーム

- 【G K】・技術の向上（クロスへの対応・パンチング・ディフレクティング 等）
- ・ゲームにおける適応能力の確認（ビルドアップ・声・ポジショニング 等）
- ・G Kとしての姿勢（気構え・責任感）

【ミーティング】

- ・アンチドーピングレクチャー ・インテグリティ研修
- ・フィジカルテスト振り返り、レクチャー
- ・TRM 振り返り ・アルゼンチン遠征振り返り

【トレーニングマッチ】

4/27（土）vs 宇都宮短期大学附属高校 35分ゲーム×3

1セット JFFID 日本代表 3-0 宇都宮短期大学附属高校

2セット JFFID 日本代表 1-0 宇都宮短期大学附属高校

3セット JFFID 日本代表 2-0 宇都宮短期大学附属高校

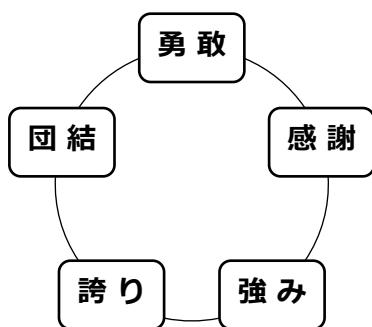
4/29（月・祝）vs 栃木 SC ユース 35分ゲーム×3

1セット JFFID 日本代表 0-5 栃木 SC ユース

2セット JFFID 日本代表 0-3 栃木 SC ユース

3セット JFFID 日本代表 0-1 栃木 SC ユース

6 JFFID 日本代表 I D E N T I T Y



日本代表、それは夢の舞台で躍動する集団
日本人である誇りと個々の強みを持ち
日本の勝利のために覚悟し、それを団結する
すべての関わりに感謝し、勇敢に世界に挑む。

7 総括

・初日にフィジカルチェックを実施し、選手のコンディション把握を行いました。クランク走・40m走・yo-yo 共にスコアが伸びている選手が多く、日常での TR や準備の良さをうかがえました。

・昨年末のアルゼンチン遠征における「課題（守備：ボールとマークの同一視、奪う優先順位）（攻撃：ラストパスの質・相手 PA 内への侵入）」をミーティングで共有し、個別 TR、グループ TR、チーム戦術 TR を行いました。合宿中に TRM を 2 回行い、攻撃・守備についてそれぞれのゲームで確認することができました。

・成果は、宇都宮短期大学附属高校戦で得点を多く奪えたことです。相手 DF 背後への飛び出し、サイドから、セットプレーなど、これまでの合宿の積み上げも踏まえた内容でゴールを量産できたことはポジティブです。また、栃木 SC ユース戦では、回数こそ多くはありませんでしたが、GK から1タッチ2タッチで相手のハイプレスを剥がしビルドアップに成功し相手陣へ進入できたことは選手の自信になっていると思います。

・課題は、栃木 SC ユース戦の1セット目に失点を重ねたことです。また、5失点のほとんどは個人戦術のエラーです。具体的には、守備時のボールとマークの同一視のエラー、攻撃時の判断の伴うテクニックのエラーです。どちらも継続して改善に努めます。

・ミーティングでは、アンチドーピングレクチャー、JPC のインテグリティ研修をオンデマンドで受講し、代表選手としてのオフザピッチの意識向上を図りました。また、代表のプレーモデル映像をレクチャーしプレーイメージを共有しました。

・代表チームは、「世界を日常に」を念頭に置き海外チームとの対戦をイメージしながら、合宿（TR）を行っています。前述の課題克服に向け継続して TR に取り組みつつ、選手の良さ（個性）を十分に発揮できるよう選手へのアプローチも状況に応じ個別化を図りたいと思います。

・最後になりますが、合宿地である栃木県及びさくら市より、選手への激励と特産品の贈呈をいただきました。また、選手を送り出してくださいました各地域の技術委員及び指導者等、関わる全ての皆様に心から御礼を申し上げます。引き続き代表活動にご理解とご協力をお願いいたします。ありがとうございました。

